

財団法人 日本情報処理開発協会とグローバルフレンドシップ株式会社は、秘密分散技術の 応用と普及に関して、共同研究することに合意

—国産 IT 技術の世界標準化への第一歩—

財団法人 日本情報処理開発協会（以下「JIPDEC」）とグローバルフレンドシップ株式会社（以下「GFI」）は、「秘密分散技術」を健全に情報社会に展開させるために、共同研究を行うことに合意した。

今回の合意により、応用範囲が非常に広い「秘密分散技術」を、情報運用管理手法の安全性および利便性を高めるために応用し、「安全・安心」に資する日本発の世界標準を目指す。

背景

「秘密分散技術」は、「内閣官房情報セキュリティセンタ（NISC）」の「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準第二版（解説書）」に「情報移送」手段として明記され、注目を集めている技術である。

GFI は 1999 年に世界で最初の秘密分散技術ソフトウェア「GFI 電子割符®」を発表し、以降もその分野のパイオニアとして研究開発および販売を行ってきた。これまでも GFI と JIPDEC は秘密分散技術に関して意見交換を行ってきた経緯がある。

「秘密分散技術」とは

古来勘合貿易等で活用された「割符」の情報運用管理概念がベースとなっており、数学的には秘密分散法に属し、基本理論は連立方程式で説明できる。

鍵を用いて原本を読み替える暗号技術と違い、原本そのものを複数に分割し、別々の場所で管理することで安全を確保するセキュリティ手法である。

「GFI 電子割符®」のアルゴリズム原理は、GFI にて日本はもとより米国・EU 等で特許取得済である。

財団法人 日本情報処理開発協会

(Japan Information Processing Development Corporation: JIPDEC)

1967年の設立以来、公益的中立機関として、それぞれの時代における政府の情報化施策に協力するとともに、産業界をはじめ各界のご支援を受けて、情報化の様々な課題に取り組んでまいりました。

会社名	財団法人 日本情報処理開発協会 (http://www.jipdec.or.jp/)
所在地	東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内
会長	牧野 力
事業内容	IT 関連の調査研究、普及振興、人材育成などを中心とする情報化環境整備の促進 プライバシーマーク、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）、 電子署名認証制度等の第三者認証制度による情報信頼性確保の推進など
設立	昭和42年12月20日
基金	39億9,900万円

グローバルフレンドシップ株式会社

(Global Friendship Inc. :GFI)

1999年に世界で最初の秘密分散技術ソフトウェア「GFI 電子割符®」を100%自社開発し、市場にリリース。以来、秘密分散技術と秘密分散市場の立ち上げに尽力しています。また、その高度で安定したセキュリティー技術と自社内の複数の割符に関連する取得済み特許及び、研究開発のノウハウにより、大手法人をはじめとした企業や官公庁、公的実証プロジェクト等への導入実績を誇っています。

会社名	グローバルフレンドシップ株式会社 (http://www.gfi.co.jp/)
所在地	東京都新宿区四谷4丁目13番 ワークスナカノ2F
代表取締役社長	保倉 豊
設立	1994年8月
資本金	1億1875万円 (2007年12月末現在)

以上